

環境に関する取り組みに関する実行度評価表	
学校名	所沢市立安松小学校
環境目標：	地域（学習林）の自然を守る安松小学校
もっとも力を入れた環境活動（自由記述）	
活動名	
①ビオトープ活動（みどりの保全） ②委員会活動 （学校花壇の整備）	
どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか	
①ビオトープ活動 笹刈りの仕方を学び、ビオトープや学習林を守る活動につながった。 ②生命委員会で種から花を育てる活動を主体的に行い、生き物や自然を大切にすることを育成し、二酸化炭素の吸収に貢献した。	
活動内容	
①ビオトープ活動 本校では緑を守る活動について、以前から継続して指導者をお招きし、緑の保全、持続可能な環境整備活動について月に1度学年ごとに教えていただきながらビオトープ活動を行っている。どの学年も年に1～2回この活動を入れており、毎年継続して取り組み、保護者や学校応援団ビオトープボランティアの方と協働しながら学んでいる。特に今年度は、来年度から予定している長寿命化改修工事に向けて、学校敷地内全体を見渡し、残すところ、切るところについても整備を進めてきた。児童は回を重ねるごとに刈り取り方やコソをを理解し、要領よく活動することができるようになってきた。また、外来種の植物について興味を持って調べるなどの関心も高まってきた。今後も継続して取り組んでいく。 ②委員会活動 生命委員会が今年度も花壇の管理について、学校の中心となって行った。今年度はポチュラカ（6月～11月）を差し芽から、パンジー（9月～3月）を種から育てている。いずれも初めは教室の中で育てて、そのあと小さなポットに入れて育てて、最後にいよいよ学校の花壇に植えて育てていく。その過程においても児童は丁寧に大切に花が咲くまで、少しずつ育っていく喜びを感じながら水やりを欠かさず実践した。パンジーが美しく咲き終わったあと、下に落ちてしまったパンジーの花びらを拾って、「まだきれいなのにすぐに捨ててしまうことがもったいない」と言った児童がいた。そこから「そういえば神社で見たことがある」「大きな器の中に水と花びらを入れて花手水にして2度楽しむのはどうですか」とアイデアが出てきたため、職員玄関の入口に置いてしばらくの間、楽しんだ。児童の主体的な活動が広がり、心も豊かになったと感じた活動になった。今後も児童の主体的な活動を大切にしながら委員会活動を運営していく。	
活動の写真	
 	